

第340号 2013年10月16日  
弘前大学総務部広報・国際課

## 学術講演会・研究発表会・公開講座

### 地域社会研究会開催のお知らせ

弘前大学大学院地域社会研究科では、地域社会研究会を下記により開催いたします。  
地域社会にかかわる研究に興味のある方はどなたでも参加・聴講できますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2013年10月19日（土）13:00～
2. 場 所： 弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大 4階  
演習室
3. 対 象： 地域社会にかかわる研究に興味がある方はどなたでも参加・聴講できます。（参加無料です。）
4. プログラム：  
13:00～ 工藤 健（鱈ヶ沢町観光協会）  
「わさおムーブメントについて」

西 敏郎（7期）  
「「学制」改革の要因研究 ～「学制」から「教育令」までを中心として～」

問い合わせ先： 弘前大学地域社会研究会事務局 竹ヶ原 公  
E-mail: takegahara2002@yahoo.co.jp



### 弘前大学資料館企画展

#### 「白神標本保存百年プロジェクト～標本が語りだす～」開催のお知らせ

弘前大学資料館では9月16日の豪雨による災害の影響により臨時休館をしておりましたが、このたび10月21日（月）に再開館することになりました。

再開館の同時企画として、「白神標本保存百年プロジェクト～標本が語りだす～」と題した企画展を開催します。白神山地が世界自然遺産に登録されて今年で20年になります。今回の展示では、白神山地の多様な動植物を示しながら、動植物の標本を収集、保存することの意義、標本から分かること、標本を用いた研究例などを紹介するこの白神山地の多様な動植物を示しながら、動植物の標本を収集、保存することの意義、標本から分かること、標本を用いた研究例などを紹介いたします。

みなさまのご来館をお待ちしております。

1. 日 時： 2013年10月21日（木）～12月20日（木）  
10：00～16：00  
（土・日・祝・休日は休館です）

2. 場 所： 弘前大学資料館 企画展示室

3. テーマ： 「白神標本保存百年プロジェクト～標本が語りだす～」

**問い合わせ先：** 弘前大学白神自然環境研究所 准教授 中村剛之  
TEL：0172-39-3707  
E-mail：dhalma@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学資料館  
TEL：0172-39-3432  
E-mail：jm3432@cc.hirosaki-u.ac.jp



### テネシー大学マーチン校 (UTM) Richard J. Helgeson教授による特別講演会開催のお知らせ

弘前大学では、アメリカ・テネシー大学マーチン校 (UTM) と昭和55年に大学間協定を締結しました。その協定に基づき、昭和62年以降、UTMから毎年教員を招へいし、教育・研究交流などを活発におこなっております。

この度、第27回招へい教員・Richard J. Helgeson教授による特別講演を行いますので、ふるってご参加ください。

1. 日 時： 2013年10月23日（水）  
① 10：20～11：50  
② 12：40～14：10

2. 場 所： ① 理工学部1号館 5階 10番講義室  
② 理工学部1号館 4階 8番講義室

3. 講 演： ① Structural Response to Earthquake Excitation

② Semi-Active Strain Energy Storage Device for Earthquake Applications  
※全て英語で行われます。

4. 対 象： 興味のある方ならどなたでも参加可能

5. 参加費： 無 料

6. 主 催： 弘前大学国際連携本部

**問い合わせ先：** 弘前大学総務部広報・国際課  
TEL：0172-39-3114  
E-mail：jm3114@cc.hirosaki-u.ac.jp



### 弘前大学総合文化祭「知の創造」 保健学研究科展示「人体の構造 ～線描図と写真による解剖記録～」開催のお知らせ

『人体の構造 ～線描図と写真による解剖記録～』をテーマに、代表者（保健学研究科 千葉正

司) が人体構造の浅層から深部まで詳細に描写した線描図(着色図)とカラー写真、解剖所見を収録した印刷物、並びに平成25年度保健学科学生(理学・作業療法学専攻の1・2年)の描いた解剖実習体および骨のスケッチ、解剖所見発表会の小冊子などを展示いたします。

人体構造に関心をお持ちの学生・高校生・市民の皆様、どうか会場にお越しいただき、展示をご覧になってください。皆様のご来場をお待ちしております。

1. 日 時 : 2013年10月25日(金)~10月27日(日)  
10:00~17:00  
(初日は13:00開始、最終日は15:00終了)
2. 会 場 : 弘前大学総合教育棟1階 ロビー・ホール
3. テーマ : 『人体の構造 ~線描図と写真による解剖記録~』
4. 対 象 : 学生・高校生・教職員・一般市民
5. 内 容 : ① 成人・小児の交連骨格と分解骨の線描図  
② 成人男性左側の連続的解剖図  
③ 人体の正常構造と左半身の皮神経分布図  
④ 珍しい変異例(馬蹄腎など)の線描図と写真  
⑤ 学生による実習体と骨のスケッチ



※ なお、机上の印刷物の閲覧は自由ですが、パネル展示の線描図・カラー写真の撮影や線描図・写真に直接触れることはご遠慮願います。

**問い合わせ先:** 弘前大学大学院保健学研究科 千葉 正司  
TEL: 0172-39-5954  
E-mail: sh-chiba@cc.hirosaki-u.ac.jp

**弘前大学人文学部 国際公開講座2013  
「日本を知り、世界を知る『資料から読み解くアジアの人・心・歴史』」開催のお知らせ**

弘前大学人文学部では、国際講座2013「日本を知り、世界を知る」を開催します。今年度のテーマは、「資料から読み解くアジアの人・心・歴史」で行います。

人文学部から4名の講師が講演を、またカナダのレスブリッジ大学から藤原義天恩先生をお招きし、特別講演を行います。

資料にもとづき、研究の「今」をわかりやすくお伝えします。  
入場無料・予約不要です。どなたでもお気軽にご来場ください。

1. 日 時 : 2013年10月26日(土) 10:00~17:00  
(開場9:00)
2. 会 場 : 弘前大学人文学部4階 視聴覚ルーム
3. 講 師 : レスブリッジ大学 助教 藤原 義天恩 氏  
本学人文学部 教授 荷見 守義



本学人文学部 教授 松井 太  
本学人文学部 教授 木村 純二  
本学人文学部 教授 渡辺 麻里子

4. 対 象 : 市民の方々・学生・教職員 等  
興味のある方ならどなたでも参加可能です。  
(入場無料、事前申込不要)

5. プログラム :

・ 10 : 00 ~ 10 : 10

開会の辞

人文学部 学部長 今井 正浩

・ 10 : 10 ~ 11 : 10

講 演 1 『倭寇と海防—中華王朝にとって海とはなにか—』

人文学部教授 荷見 守義

・ 11 : 20 ~ 12 : 20

講 演 2 『シルクロードの仏教巡礼—敦煌の通行手形と落書きから—』

人文学部教授 松井 太

・ 12 : 50 ~ 13 : 50

講 演 3 『弘前藩の藩校資料—お殿様の学問と教養—』

人文学部教授 渡辺 麻里子

・ 14 : 00 ~ 15 : 00

講 演 4 『伊藤仁斎の「愛」の思想—他者と共に生きる—』

人文学部教授 木村 純二

・ 15 : 10 ~ 16 : 50

【特別講演】『平尾魯僊が見た二つの国—津軽と日本—』

レスブレッジ大学 (カナダ) 助教 藤原 義天恩  
(University of Lethbridge Assistant Professor  
Dr. Gideon Fujiwara )

・ 16 : 50 ~ 17 : 00

閉会の辞

人文学部 副学部長 長谷川 成一

6. 主 催 : 弘前大学人文学部

問い合わせ先 : 弘前大学人文学部 渡辺 麻里子

TEL・FAX : 0 1 7 2 - 3 9 - 3 2 3 1 (研究室直通)

E-mail: mwata@cc.hirosaki-u.ac.jp

### 「弘前大学被ばく医療総合研究所 特別講演会」開催のお知らせ

被ばく医療総合研究所では、福島県双葉郡浪江町の浪江町国保仮設津島診療所の関根俊二先生をお招きし、特別講演会を開催いたします。

関根俊二先生は1998年に現在の浪江町津島診療所に赴任され、以来、15年間浪江町民の診療にご尽力されてきました。また、2011年の東日本大震災に伴う福島第1原子力発電所の事故後も、診療所における一般診療に加え、放射線の健康影響を考慮し、ホールボディカウンターを導入する等、町民の健康管理に精力的に取り組んでおられます。

どなたでも、興味のある方はぜひご参加ください。教職員のみならず、多くの学生の参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2013年10月26日（土） 17:00～18:00
2. 会 場： 弘前大学創立50周年記念会館 2階 岩木ホール  
※駐車場は用意しておりませんので、公共交通機関をご利用願います。
3. 対 象：興味のある方ならどなたでも参加可能です。
3. 講 師： 福島県双葉郡浪江町 浪江町国保仮設津島診療所  
関根 俊二 所長
4. 演 題： 「東日本大震災における医療活動と今後の課題  
～特に災害医療の問題点～」
5. 参加料： 無 料
6. その他： 参加を希望される方は、下記まで電話・FAX・メールのいずれかでお申し込みください。



**申込み・問い合わせ先：** 弘前大学被ばく医療総合研究所事務室  
 TEL：0172-39-5401  
 FAX：0172-39-5514  
 E-mail：jm5401@cc.hirosaki-u.ac.jp

### 農学生命科学部公開講座「生き物たちの生き残るくふう」開催のお知らせ

農業のグローバル化が叫ばれる中で、「攻めの農政」の中心といわれる農産物輸出について現在どのような状態であるのかを紹介し、今後拡大する上での問題点について考えます。  
 また、津軽地域は世界有数のりんご地帯。今、りんごの輸出、新品種の権利確保（クラブ制）、自然栽培など、新動向を見つめます。

1. 日 時： 2013年10月27日（日） 13:30～15:30
2. 場 所： 弘前大学農学生命科学部 3階 302講義室
3. 演題・講師： 「日本産農産物・食品は世界に羽ばたけるのか？」  
農学生命科学部 准教授 石塚 哉史  
  
「世界のりんご 日本のはりんご」  
農学生命科学部 教授 神田 健策
4. 対象者： 一般市民（事前申込不要）
5. 受講料： 無 料



※受付は、当日、302講義室前にて行います。  
 ※本講座は、「あおもり県民カレッジ」の単位認定講座です。

**問い合わせ先:** 弘前大学農学生命科学部地域連携推進室  
総務グループ（研究協力担当） 鈴木  
TEL：0172-39-3758  
FAX：0172-39-3757  
E-mail:renkei@cc.hirosaki-u.ac.jp

## 「2013 BRAND FORUM IN AOMORI」開催のお知らせ

このたび、文部科学省「地域イノベーション戦略支援プログラム」の採択を記念して、弘前・津軽エリアにおける「ヘルス&ビューティー産業クラスター」の創出に向けた地域力向上のために、世界のトップブランドである「シャネル（CHANEL）」の日本法人を率いる同社社長のリシャール・コラス氏を招き、「ブランド（Brand）」をテーマとした一大フォーラムを開催することといたしました。

この機会に、是非皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2013年11月1日（金） 14：00～16：40（開場13：30）

2. 会 場： ホテルニューキャッスル弘前 3階 「麗峰の間」  
（弘前市上鞆師町24-1）

3. 内 容：

<挨拶> 14：00～14：15

青森県知事 三村 申吾  
弘前市長 葛西 憲之  
弘前大学長 佐藤 敬

<特別講演> 14：15～15：35

テーマ：「ブランドのつくり方（仮）」  
シャネル株式会社 代表取締役社長 リシャール・コラス 氏

<トークセッション> 15：50～16：40

テーマ：「『青森（弘前・津軽）ブランド』の創造に向けて（仮）」

|                 |             |
|-----------------|-------------|
| PR：シャネル社長       | リシャール・コラス 氏 |
| 東京大学名誉教授        | 松島 克守 氏     |
| 青森県知事           | 三村 申吾 氏     |
| 弘前市長            | 葛西 憲之 氏     |
| 弘前大学大学院医学研究科 教授 | 大山 力 氏      |
| MD：日経BP社特命編集委員  | 宮田 満 氏      |

<ネットワーキングパーティ（交流会）> 17：15～19：00

（参加費 3,000円）

4. 対 象： 一般県民・企業・大学・研究機関・関係団体など 先着300名  
（事前申込が必要です。）

5. 参加費：無 料  
(ただし交流会にご参加の場合は、参加費 3,000円がかかります。)
6. 主 催：青森県・青森県プロテオグリカンブランド推進協議会・  
ライフイノベーションネットワーク青森 (LINA)  
弘前大学・弘前市・(地独)青森県産業技術センター・  
(公財)21あおもり産業総合支援センター・  
弘前商工会議所・ひろさき産学官連携フォーラム ほか(予定)
- 後 援：経済産業省・文部科学省・科学技術振興機構 (JST) ほか(予定)
- 協 力：青森銀行・みちのく銀行・フューチャーベンチャーキャピタル・  
青森県工業会(予定)
7. 申込み：下記申込み先まで、以下の項目をメール等でお知らせください。  
1) 会社名・団体名等      2) 参加者の役職名      3) 参加者の氏名  
4) 交流会の参加の有無      5) 電話番号      6) FAX番号  
7) E-mailアドレス

**申込み先：**青森県商工労働部新産業創造課／医療・健康福祉産業創出G

TEL：017-734-9420

FAX：0172-39-3919

E-mail:koichi\_murashita@pref.aomori.lg.jp

URL：<http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/shoko/salon.html>

**問い合わせ先：**弘前大学研究推進部研究推進課産学連携推進グループ 櫻庭

TEL：0172-39-3911

FAX：0172-39-3919

E-mail:sangaku@cc.hirosaki-u.ac.jp

### 学術講演会開催のお知らせ

1. 日 時：2013年11月1日(金) 17:00~18:00
2. 場 所：理工学部2号館 10階 1005号室
3. 講演者：Vichian Laohakosol (タイ・カセットサート大学教授)  
題 目：タイにおける数学オリンピックコンテスト
4. 概 要：タイ数学オリンピック選手団のインストラクターや団長などを務めた Laohakosol 教授が、2013年にタイ国内で行われた予選問題を中心に、現状と課題も交えて講演する。優秀な正解者にはご褒美があるかも(!?)
5. 対 象：学生、一般教職員など興味がある方ならどなたでも参加可能  
(事前申込は不要)

**問い合わせ先：**弘前大学理工学研究科 小松尚夫

E-mail:komatsu@cc.hirosaki-u.ac.jp

## シンポジウム「裁判員裁判へのアクセス —より裁判員を務めやすい環境整備に向けて」 開催のお知らせ

一般市民が裁判官とともに刑事事件に参加する裁判員裁判の実施から4年が経過しました。しかし、裁判員に選ばれたら、家庭や仕事をどうすればよいか、裁判員の務めを果たせるのか、いまだに心配は尽きないように見受けられます。そこでこのシンポジウムでは、裁判員を経験した方などの話を聞き、裁判員はどのようなことをするのか、裁判員に選ばれたらどうしたらよいのかを、知り、考える機会を持ちたいと思います。どうぞお気軽にご参加ください。

1. 日 時： 2013年11月3日（日・祝） 14:00～17:00

2. 場 所： 弘前大学人文学部棟4階 多目的ホール  
（文京キャンパス内）

3. 対 象： 学内外問わずどなたでも歓迎（事前申込は不要です）

4. 内 容：

### 第一部 報告と講演

飯 考行（弘前大学）  
「市民不在の裁判員裁判？」

田口真義（元裁判員・LJCC～裁判員経験者によるコミュニティ～事務局）  
「裁判員のあたまの中」

### 第二部 パネルディスカッション

パネリスト： 田口真義、裁判員経験者など（予定）  
コーディネーター： 飯 考行

5. 主 催： 弘前大学人文学部  
教育学部・学生サークルteens & law

6. その他：

- ・ 入場無料です。また、裁判員経験者を募集中です。下記問い合わせ先までご連絡いただけますと助かります。
- ・ 本シンポジウムは、平成23～25年度科学研究費補助金挑戦的萌芽研究「市民・裁判員の視点から見た裁判員裁判の検証」の一環です。
- ・ 前週の10月27日（日）13:00より、同会場にて、学生サークルteens & lawによる模擬裁判員裁判「死刑になるための殺人事件」が行われます。お時間がございましたら、こちらにも足をお運びください。
- ・ 詳細については、下記URLをご参照ください。  
<http://www.saibanhou.com/sympo2013c.html>

**問い合わせ先：** 弘前大学人文学部 飯考行（いい・たかゆき）  
TEL：0172-39-3958  
E-mail: iit@cc.hirosaki-u.ac.jp





## 弘前大学金木農場「農場祭」開催のお知らせ

弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センターでは、地域の皆様との結びつきを深めるために「農場祭」を開催します。どうぞお気軽にご来場ください。

1. 日 時： 2013年11月16日（土） 9：30～15：00
2. 会 場： 弘前大学金木農場  
（五所川原市金木町芦野84-133）
3. 催し物：

○農場生産物販売コーナー（9：30～）

金木農場と藤崎農場で丹精込めて作ったものです。是非、お買い求めください。

金木農場産・・・新米（つがるロマン、まっしぐら、もち米）、弘大アップルビーフ、羊肉

藤崎農場産・・・りんご、ねぎ

（何れも数に限りがございますので、売り切れの場合はご了承ください）

○販売（9：30～順次）

弘大生協コーナー・・・金木農場産酒米を使用した日本酒「弘前大学」など。  
お食事コーナー、弘大グッズ等

○その他出店（9：30～順次）

金木町斜陽の詩・稲垣町「おかずや」（お惣菜など）etc.

○展示（終日）

藤崎農場・金木農場の教職員による研究・展示

（紅の夢、無農薬りんご、アップルビーフ、牧草など）



**問い合わせ先：** 弘前大学農学生命科学部

附属生物共生教育研究センター 金木農場

TEL：0173-53-2029

FAX：0173-53-5137

E-mail: jm532029@cc.hirosaki-u.ac.jp

## 電子情報通信学会東北支部 学術講演会 次世代型IT基盤技術開発センター講演会 開催のお知らせ

1. 日 時： 2013年11月18日（月） 13：00～14：00
2. 場 所： 弘前大学創立50周年記念会館 みちのくホール
3. 対 象： どなたでもご参加いただけます（事前予約不要です）。  
教職員、学生、その他一般の方のご参加をお待ちしております。
4. 概 要： ロボットが人間と経験を共有して日常的な言語コミュニケーションをするためには、ロボットが、感覚・運動系などの認知機能との関連性を含めた総体としての

言語システムを、いかに構成、利用するかが課題である。本講演では、ロボットが発話や身体的な行動によるユーザとの共同行為を通して、物体概念と動作を含む総体としての言語システムをボトムアップに学習し、マルチモーダル言語コミュニケーションを実現する、従来とはまったく異なるヒューマン・ロボット・コミュニケーション技術のアプローチ—発達のアプローチ—について述べる。

5. 講演題目：「マルチモーダル言語コミュニケーションを学習するロボット」
6. 講師：京都大学大学院情報学研究科 知能情報学専攻 研究員 岩橋 直人 氏
7. 受講料：無 料

問い合わせ先：弘前大学大学院理工学研究科 岡本 浩  
TEL：0172-39-3636  
E-mail:okamoto@eit.hirosaki-u.ac.jp

**高分子学会東北支部会員増強対策講演会  
—新しいフッ素系機能性材料の展開— 開催のお知らせ**

1. 日時：2013年12月2日（月）10:00～12:00
2. 場所：弘前大学大学院理工学研究科1号館 2階 大会議室
3. 対象：本学学部学生・大学院生及び社会人一般の方（事前申込不要）
4. プログラム：

10:00～11:00 「フッ素エラストマーの実際」  
ダイキン工業株式会社 角野 栄作 氏

11:00～12:00 「フルオロアルキル基を有するhead-to-head型スチレンダイマー類の選択的合成とその性質」  
島根大学医学部 教授 吉田 正人 氏

5. 参加費：無 料

問い合わせ先：弘前大学大学院理工学研究科 澤田 英夫  
TEL：0172-39-3947  
E-mail:hideosaw@cc.hirosaki-u.ac.jp

**文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業  
平成25年度 弘前大学講演会「課題解決型学習の実践と課題」開催のお知らせ（再掲）**

弘前大学では、文部科学省G P「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」の採択を受け、社会的・職業的に自立し、産業界のニーズに対応した人材育成の取組みを行ってきました。この事業において弘前大学は、「地域企業と実践する課題解決型学習による主体的な学び」を取組テーマとして掲げ、人文学部と農学生命科学部を中心に課題解決型学習（PBL）に積極的に取り組んでいます。

そうした取組は、学生の学習に対する主体性を高めるなど効果を上げてきている一方で、効果的

な課題解決型学習はどのようなものか、また、学生の評価をどのように行えばよいのかなどの課題も明らかになってきています。

そこで、効果的な課題解決型学習の取り組み方やその課題について、先進的な取組を行っている大学の事例報告をもとに考えていくことを目的とした講演会を開催します。

この講演会を通して、学生の社会人基礎力の向上、また、学生が将来のキャリアを考えるための機会として、課題解決型学習を教育にどのように取り込み、実践していけばよいのか、参加者とともに考えていきたいと思います。

1. 日 時： 2013年10月18日（金）13:00～15:30

2. 会 場： 弘前大学創立50周年記念会館 岩木ホール

3. プログラム：

(12:30～)

【受付開始】

13:00～13:05

開会挨拶

弘前大学理事（教育担当）中根 明夫

13:10～13:55

基調講演 1

演 題：『課題解決型学習で「企業が求める力」は育成できるのか』

北九州市立大学キャリアセンター 准教授 見館 好隆 氏

13:55～14:45

基調講演 2

演 題：『課題解決型学習による農力の育成』

新潟大学農学部 教授 箕口 秀夫 氏

14:45～15:25

意見交換

15:25～15:30

閉会挨拶

弘前大学人文学部長

今井 正浩

4. 参加対象： 本学教職員、学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム加盟大学教職員、その他関係機関

5. 参加費： 無 料

6. 主 催： 弘前大学

7. 参加申込： 参加を希望される場合は、氏名・所属・電話番号・メールアドレスを記載のうえ、下記担当までeメール等でお申し込みください。

申込み・問い合わせ先：

弘前大学人文学部

地域連携人材育成事業事務局（総合教育棟2階） 中屋敷 雅江

TEL・FAX：0172-39-3978

E-mail:gp@cc.hirosaki-u.ac.jp



「第13回青森糖質研究会」開催のお知らせ（再掲）

1. 日 時： 2013年10月18日（金）14:00～17:05

2. 会 場： 弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大 8階  
八甲田ホール

3. テーマ： 『新展開を生み出す糖質利用の新たな視点』

4. 対 象： 一般市民、弘前大学学生・大学院生・教職員、  
多数の参加をお待ちしております。

5. プログラム：

14:00～14:10 〈開会の挨拶〉 青森糖質研究会  
会長 加藤 陽治

14:10～16:55 〈講演〉

1. 「米粉パンに適した品種適正および加工技術～米粉需要拡大を目指した技術開発～」  
濱田 茂樹 氏 (弘前大学 農学生命科学部 分子生命科学科)

2. 「良食味米飯を得るための調理科学」  
新井 映子 氏 (静岡県立大学 食品栄養科学部)

3. 新技術紹介「リンゴ剪定枝を原料とした活性炭の開発」  
廣瀬 孝 氏 (青森県産業技術センター 工業総合研究所)

16:55～17:05 〈閉会の挨拶〉 青森糖質研究会 副会長 市田 淳治

6. 主 催： 青森糖質研究会

共 催： ひろさき産学官連携フォーラム、日本応用糖質科学会東北支部

後 援： (公財)水谷糖質科学振興財団

7. 参加費： 無 料

8. 事前申込： 下記問い合わせ先までお申し込みください。

※ 研究会終了後(17:30～19:30)、コラボ弘大1階 コミュニティスペースにて交  
流会を予定しております。(会費 一般：3,000円、学生：1,000円)

※ 詳細については、下記URLをご参照ください。

<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/~biochel/aotouken/aotouken.htm>

**申込み・問い合わせ先：** 青森糖質研究会事務局  
弘前大学大学院医学研究科 附属高度先進医学研究センター  
糖鎖工学講座内 柿崎 育子  
TEL：0172-39-5015  
E-mail：kaki@cc.hirosaki-u.ac.jp

第13回 青森糖質研究会  
新展開を生み出す糖質利用の新たな視点  
日 時：平成29年10月18日(金) 14:00～17:05  
場 所：弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大8階  
『八甲田ホール』 参加費 無 料  
＜プログラム＞  
14:00～ (開会の挨拶)  
14:10～ 講演1:「米粉パンに適した品種適正および加工技術  
～米粉需要拡大を目指した技術開発～」  
弘前大学 農学生命科学部 分子生命科学科  
濱田 茂樹 氏  
15:00～ 講演2:「良食味米飯を得るための調理科学」  
静岡県立大学 食品栄養科学部  
新井 映子 氏  
15:50～16:05 休 憩  
16:00～ 講演3: 新技術紹介「リンゴ剪定枝を原料とした活性炭の開発」  
青森県産業技術センター 工業総合研究所 ものづくり技術部  
主任研究員 廣瀬 孝 氏  
16:55～ (閉会の挨拶)  
交流会: 17:30～19:30 参加費なし(学生は1,000円)  
会 場： コラボ弘大1階 コミュニティスペース  
会 費： 一般: 3,000円 学生: 1,000円  
主催: 青森糖質研究会 青森糖質研究会 会長 加藤 陽治  
共催: ひろさき産学官連携フォーラム (財)水谷糖質科学振興財団  
日本応用糖質科学会東北支部 弘前大学大学院医学研究科  
糖鎖工学講座内 糖鎖工学講座 糖鎖工学講座内  
柿崎 育子  
〒030-8585 青森県弘前市 弘前大学  
Tel: 0172-39-5015 Fax: 0172-39-5016  
E-mail: kaki@cc.hirosaki-u.ac.jp

2013年弘前大学白神研究会 秋の観察会 ～晩秋の高倉コース～ (再掲)

そろそろ秋も深まって、津軽峠付近は落葉が始まっているでしょう。  
ですが、高倉コースの中程以下は紅葉の盛りだと思います。ふるってご参加ください。

1. 日 時：2013年10月19日（土）10：15～15：30（雨天決行）
2. 集 合：西目屋村アクアグリーンビレッジ・ANMON駐車場  
（お車をお持ちでない方はお申し出ください。9時に弘前大学正門集合です。）
3. コース：津軽峠－高倉コース－アクアグリーンビレッジANMON
4. 参加可能人数：20名
5. 対 象：小学4年生以上の方（小・中学生は、保護者同伴でお願いします。）
6. 服装・装備：服装は、通常のハイキングの服装でけっこうです。低温・雨の可能性があるので、上着・雨具をお持ちください。お弁当、飲み物は各自でご用意ください。
7. 参加費用：1人 1,000円（テキスト・傷害保険代金）＋バス代400円
8. 主 催：弘前大学白神研究会
9. 事前申込み：下記申込み・問い合わせ先までお申し込みください。
10. 申込締切：10月17日（木） ※定員になり次第締め切ります。

申込み・問い合わせ先：弘前大学白神自然環境研究所 中村、山岸  
TEL・FAX：0172-39-3707、3706  
白神マタギ舎 牧田 肇  
TEL・FAX：0172-88-1881

#### シンポジウム「東日本大震災後の農漁村地域の復興と持続可能性」開催のお知らせ（再掲）

東日本大震災後の持続可能性を重視した農漁村の地域づくりと復興の法的論点について、ドイツと日本の農業法や環境法を専門とする早稲田大学の棚澤教授（法社会学）の講演などから学び、意見交換を行います。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2013年10月19日（土）15：00～17：00（予定）
2. 場 所：弘前大学人文学部棟4階 多目的ホール
3. 対 象：学内外問わずどなたでも参加可能  
※事前申込みは不要です。入場無料です。
4. 内 容：第一部 講演  
棚澤能生（くるみさわ・よしき）（早稲田大学法学部）  
「戦後農地法制度の体系：持続可能社会への展望と阻害」  
  
第二部 被災地の現状報告と意見交換  
李永俊（弘前大学人文学部）  
「岩手県野田村の住民アンケート調査結果から」など
5. 主 催：弘前大学人文学部  
（平成25年度人文学部戦略経費「東日本大震災後の東北地方のQOLと労働福祉法政策研究」）

※ 詳細（随時更新）については、下記URLをご参照ください。  
<http://www.saibanhou.com/sympo2013b.html>

**問い合わせ先：** 弘前大学人文学部 飯考行（いい・たかゆき）  
TEL：0172-39-3958  
E-mail：iit@cc.hirosaki-u.ac.jp

### 第38回弘前大学経済学会大会開催のお知らせ（再掲）

1. 日時：2013年10月25日（金）14：00～17：15
2. 会場：弘前大学人文学部4階 多目的ホール
3. 対象：どなたでも参加可能
4. プログラム：
  1. 開会挨拶  
細矢 浩志 会長（弘前大学人文学部 教授） 14：00～14：05
  2. 講演  
北野 重人 氏（神戸大学経営経済研究所准教授）14：10～15：30  
『新興市場国への資本流入問題に関するマクロ的分析  
－世界金融危機後の新たな課題と政策』
  3. 研究発表（1）  
恩田 睦 氏（弘前大学人文学部 講師） 15：40～16：25  
『弘南鉄道の経営展開と菊池武憲』
  - 研究発表（2）  
李 永俊 氏（弘前大学人文学部 教授） 16：30～17：15  
『労働経済学の観点からみた災害復興の現状と課題  
－岩手県野田村の村民アンケート調査結果から』

※ 学会への参加申込は不要です。参加費は無料です。  
※ 学会終了後、本学文京キャンパス周辺のお店を会場として、懇親会を行います。  
懇親会に参加される方は、学会開催の2～3日前までに事務局 鈴木までご連絡ください。  
会費は5,000円程度を予定しています。

**問い合わせ先：** 弘前大学人文学部 鈴木和雄  
TEL・FAX：0172-39-3271  
E-mail：suzukiks@cc.hirosaki-u.ac.jp

### 弘前大学総合文化祭「知の創造」 保健学研究科「市民公開講座」のお知らせ（再掲）

『がんの放射線治療』をテーマに市民公開講座を開催いたします。  
事前の申込みは不要ですので、参加を希望される方は、当日直接会場にお越しください。多数の

ご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2013年10月25日（金） 17:30～19:00
2. 会 場： 弘前大学創立50周年記念会館 2F 岩木ホール
3. テーマ： 『がんの放射線治療』
4. 内 容： 講演1 「放射線治療器とはどんな装置？」  
廣田 淳一 先生  
（弘前大学大学院保健学研究科准教授）  
講演2 「地域医療としてみた高齢者がん放射線治療」  
真里谷 靖 先生  
（弘前大学大学院保健学研究科教授）
5. 入場料： 無 料
6. 対 象： 一般市民および本学学生
7. 共 催： 平成25年度学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム活性化支援補助金  
対象事業



**問い合わせ先：** 弘前大学大学院保健学研究科総務グループ  
TEL：0172-39-5905

### 第15回「家庭でできる看護ケア教室」開催のお知らせ（再掲）

1. 日 時： 2013年10月31日（木） 13:00～15:30  
2013年11月14日（木） 13:00～15:30
2. 会 場： 弘前大学医学部コミュニケーションセンター  
（駐車場はありません）
3. 対 象： 市民の方々（先着順で30名様）
4. 参加費： 無 料
5. プログラム：

- 第1回：**10月31日（木） 13:00～15:00  
「家庭でできる感染予防 ～自分・家族を守る方法～」  
「知って得するおむつのはなし  
～おむつの当て方のコツ、皮膚トラブルの対処まで～」
- 第2回：**11月14日（木） 13:00～15:30  
「健康的ないきいき生活のちょっとしたコツ  
～生活習慣見直しのきっかけになります！～」



※看護の専門領域で活躍するナースが講師となり、実際に即した方法をお伝え致します。  
※講義は1回のみ参加も可能です。申込時にお知らせください。

※第2回目は、簡単な運動もありますので動きやすい服装でおいでください。

6. 申込受付期間： 2013年10月1日（火）～10月18日（金）  
9：00～17：00（土曜日、日曜日、祝祭日を除く）

7. 主 催： 弘前大学医学部附属病院 看護部  
（この事業は、社団法人青森医学振興会の助成金で運営されております。）

申込み・問い合わせ先： 弘前大学医学部附属病院地域連携室 福士明美  
TEL：0172-39-5337

### 第7回 弘大病院がん診療市民公開講座開催のお知らせ（再掲）

1. 日 時： 2013年11月9日（土）13：00～15：30

2. 会 場： ヒロロ4階 弘前市民文化交流館  
（弘前市大字駅前町9-20）

3. 内 容： 弘前大学医学部附属病院の専門医による、移植を用いた小児がん治療と最近の放射線治療についてそれぞれの立場から、市民の皆様にはわかりやすく講演致します。講演後に質疑応答の時間を設けております。

4. プログラム：

○演題1 「がん治療における最近の放射線治療の進歩」（60分程度）  
講師 弘前大学医学部附属病院放射線科教授 高井 良尋

○演題2 「造血幹細胞移植を用いた小児がんの治療」（60分程度）  
講師 弘前大学医学部附属病院小児科教授 伊藤 悦朗

○質疑応答（20分程度）

4. 対 象： 一般市民（事前申込は不要です）

5. 入場料： 無 料

6. 主 催： 弘前大学医学部附属病院 腫瘍センター

共 催： 次世代がん治療推進専門家養成プラン

後 援： 弘前市

問い合わせ先： 弘前大学医学部附属病院腫瘍センター がん診療相談支援室  
TEL：0172-39-5174



文部科学省「情報ひろば」にて  
弘前大学「被ばく医療」の取組に関する企画展示のお知らせ（再掲）

弘前大学は、文部科学省 情報ひろば「旧秘書官室」において、『「被ばく医療」の取組』につ



いて、一般の方々に分かりやすく紹介するための企画展示を行うことになりました。

これまで本学が取り組んできた被ばく医療人材育成や東日本大震災後に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故での福島県への支援等について、パネル等で紹介いたします。

1. 展示期間等： 2013年8月1日（木）～11月末（予定）  
月曜から金曜の10:00～18:00 ※土曜・日曜・祝日は休館日です。
2. 展示場所： 旧文部科学省庁舎3階 情報ひろば「旧秘書官室」  
(東京都千代田区霞が関3-2-2)
3. 展示概要：

本学では、緊急時の危機管理対策の一環として、以前から被ばく医療に即応可能な体制の整備に取り組んでおり、これまでに、医学部、大学院保健学研究科、被ばく医療総合研究所等において被ばく医療の教育、研究を通して、被ばく医療を担える人材の育成を図ってきたほか、医学部附属病院高度救命救急センターでは、被ばく患者を受入、治療を行える体制を整えてきました。

東日本大震災後に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故により、大量の放射性物質が大気中に放出され、環境等への影響を及ぼすようになったことから、放射線に関する基礎知識を多くの方々に理解していただくとともに、本学がこれまで取り組んできた被ばく医療に関連する人材育成や福島県への支援等について紹介します。

#### 【主な展示物】

##### ○パネル展示

- ・放射線の基礎知識
- ・被ばく医療の人材育成
- ・福島県への支援
- ・活動成果の学術的情報発信 など

##### ○実物展示

- ・霧箱（放射線の飛跡を観測することができる装置です。）  
※霧箱実物を展示しますが、放射線の観測は、事前に撮影した映像をモニターで紹介します。
- ・放射線測定器  
※日常生活で身のまわりにある「乾燥コンブ」等の放射線測定器「ベータちゃん」で測定できます。

**問い合わせ先：** 弘前大学総務部広報・国際課  
TEL：0172-39-3012  
E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp

## 学 内 掲 示 板

### 弘前大学出版会から新刊のご案内

大坪正一・宮永崇史編著「環境・地域・エネルギーと原子力開発～青森県の未来を考える」（A5判、167頁、定価 1,470円：税込）を出版しました。

～紹介文～

本書は、弘前大学21世紀教育（教養教育）で開設された「環境との共生(D)」の講義を基礎に、学生および市民の学習用テキストとして編集したものである。この講義は、東日本大震災直前の

2010年後期から始まったが、青森県の経済、歴史、地域社会などを学び、原子力開発や自然エネルギー開発を取り上げ、青森県の未来を考えるとというものである。福島原発事故以降は、日本の原子力政策と地域との関わりが鋭く問われているので、青森県に限らず同様の問題を抱える地域でも、環境、地域、エネルギー、原子力開発をトータルにとらえていくことは、重要な課題となっているといえる。本書は、自然科学、社会科学を問わず幅広い研究領域の執筆者によって構成されており、環境との共生という視点から、原子力開発問題を学際的に学べる内容となっているのが特徴である。  
ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。



おのななせ（絵と文）・佐藤光輝（監修）「まいまいさんとなめくじさん」（A5判、30頁、定価1,260円：税込）を出版しました。

～紹介文～

学生の卒業制作が絵本になりました！

雨上がりの昼下がりの道端でナメクジとカタツムリが出会います。

カタツムリの殻が羨ましくなったナメクジのために、カタツムリが代わりにモノを探してあげます。

いろんなモノを試してみますが、なかなか良いモノが見つかりません。

ふたりが最後に訪れた場所は．．．？



ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。

### **弘前大学出版会から出版のための企画募集**

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

**問い合わせ先：** 弘前大学出版会（附属図書館内）  
TEL：0172-39-3168  
FAX：0172-39-3171  
E-mail：hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

### **国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について**

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第28号・第25号・第23号・第22号において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から) 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日(毎月1日と16日の2回)の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当: 総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp FAX: 39-3498、内線: 3029